

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

快挙！

- 1位 濱元大晴さん 1年生男子走幅跳
- 3位 1年生男子100m走
- 1位 福地飛楽さん 2、3年生男子走高跳
- 3位 宮城瑚羽さん 2、3年生男子砲丸投

大宜味村教育委員会
 電話 44-3006
 FAX 44-3020



第46回沖縄県中学校陸上競技選手権大会

5月19日（日）、タピック県総ひやごんスタジアム（県総合運動公園陸上競技場）において開催された第46回沖縄県中学校陸上競技選手権大会に大宜味中学校の生徒が出場し、1年生の濱元大晴さんが1年生男子走幅跳で1位（記録5m20）、1年生男子100m走で3位（記録12秒16）、2年生の宮城瑚羽さんが2、3年生男子砲丸投で3位（記録8m61）、3年生の福地飛楽さんが2、3年生男子走高跳で1位（記録1m60）と素晴らしい成績を収めました。

大会をふり返り濱元大晴さんは「幅跳びでは5m20、跳べて良かった。自己ベストの結果。次は5m40を目標に頑張りたい。100m走は4位と0.02秒の差だったが、勝てて良かった。次は11秒台を目指したい」、名護市まで行って練習に勤しんだ宮城瑚羽さんは「砲丸投は同学年の選手に負けて悔しかったけれど3位になれて良かった。今年中に10m飛ばせるようにしたい。4位になった円盤投も次は30m飛ばせるようになりたい」、ケガを押しての出場となった福地飛楽さんは「思ったよりできなかったけれど、優勝できて良かった。次は1m70跳びたい」と喜びと意気込みを話してくれました。

次の陸上大会は6月22日～23日に行われる第70回全日本中学校通信陸上競技（沖縄）大会（タピック県総ひやごんスタジアム開催）です。次回も大宜味中学生たちの活躍に期待しています！

9人でたすきをつなぎ、島を駆け抜ける やんばる駅伝競走与論島大会



5月18日（土）に鹿児島県与論町において第31回やんばる駅伝競走与論島大会が開催されました。与論島大会では島の巡回線を3周する総距離43.1km、9区間のコースを一般男子4名、女子2名、30代男子1名、40代男子1名、50代男子1名で走り、たすきを繋げます。



金城直樹さん

アップダウンのある区や真っ直ぐな道をひたすら走る区など選手にとってなかなかきつい走路でしたが、大宜味村

チームは昨年より2つ順位をあげ12位でゴールし、目標の最下位脱出を遂げました。

閉会式では10年連続出走者として金城直樹さんが表彰されました。

金城さんは「今後もさらに速く走れるように頑張ります。10年走る機会を、ありがとうございます」と喜びました。

1991年の第1回大会から31年連続出走している大城武さんは「第27回大会以降低迷が続く中、大宜味村チームは前大会より2つ順位をあげることができた。今後の取組みとして個人練習だけでなく選手が集まって一緒に走る機会を作っていきたい。年間を通じ、合同練習や記録会を行い、選手強化につなげる。次大会は躍進賞を目指したい」と話しました。

やんばる駅伝競走大会は伊平屋島、伊是名島、伊江島、与論島の4島において隔年で行われます。来年は伊江島大会です。駅伝に興味がある、走ってみたいという方は大宜味村体育協会陸上部までお声掛けください。

～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第4回 教育委員会会議 令和6年4月25日（木）午後2時 開催

＜審議事項＞

- 報告第5号 大宜味村教育委員会事務点検評価委員の委嘱について <<報告>>
- 報告第6号 大宜味村指定文化財（大宜味村指定第3号）「津波のビーチロック」の管理団体に大宜味村を指定することについて <<報告>>
- 承認第2号 臨時に代理した事務の報告及び承認について <<承認>>
（大宜味村海外短期留学派遣事業実施要綱）について

図書室情報 No.58 2024年（令和6年）6月 大宜味村図書室（旧議会棟：村史編纂係内） 大宜味村字大兼久 157番地 0980-44-3009

6月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

リクエスト受付中！

※年度内お一人5冊まで本のリクエストができます！沖縄県立図書館の本を取り寄せるサービスも利用できますので、お気軽にお声掛けください！！

新着図書は6月中旬から貸出予定です。

- 『天才児ひなとかのんののおひさま日記⑤』森山和泉・著 琉球新報社
- 『戦雲 要塞化する沖縄、島々の記録』三上智恵・著 集英社
- 『まんががやってみたくなるオープンダイアログ』斎藤環・著 医学書院
- 『図解でわかる改正民法・不動産登記法の基本』岡信太郎・著 日本実業出版社
- 『火の鳥 いのちの物語』手塚治虫・著 金の星社

利用状況累計

- 来室者数…のべ3,301人
- 貸出冊数…5,648冊
- 登録者数…175人
- 5月の統計（5/24まで）
- 来室者数…のべ50人
- 貸出冊数…85冊
- 現在の蔵書数…7,309冊

～お詫びと訂正～

先月号のあじま～（352号）に間違えた表記がありました。正しくは下記のとおりです。

- P2 NewFace 給食センター調理員（誤）宮城加代子さん⇒（正）神里加代子さん
- P4 こども園でいご組園児の名前（誤）比嘉鳳人⇒（正）比嘉鳳人
- P5 小学校 1年生 児童の名前（誤）堤木乃華⇒（正）堤木乃花
- 号外 塩屋湾一周マラソン大会（誤）大宜味中2年名城侍さん⇒（正）大宜味中3年名城侍さん

謹んでお詫び申し上げます。



給食センター



調理員 神里加代子さん

展示会のお知らせ

大宜味の土より成るグスク展

日時：令和6年6月24日（月）～6月27日（木） 庁舎開庁時間内

場所：大宜味村役場 1階ギャラリースペース

私たちが住んでいる大宜味村にも今から約700年前、グスク（城）を持った権力者がいました。やんばるのグスクには土を削ったり、盛ったりすることで、防御の構えを作る「土より成るグスク」があります。

今回はお隣の名護市のナングシクと嘉陽上グスクと共に大宜味村の根謝銘城跡の調査成果や出土した遺物を展示します。ぜひ、お越し下さい！



根謝銘城跡遠景



掘切



遺構出土状況



出土した青磁碗

主催：大宜味村教育委員会 協力：名護市教育委員会 文化課

問い合わせ先：大宜味村教育委員会 ☎ 0980-44-3006

大宜味村でひっそり行われる祭典 令和6年度わんぱく体験団 第1弾「わんぱく Olympic2024」

5月25日（土）、旧大宜味小学校体育館において令和6年度わんぱく体験団①「わんぱく Olympic2024」が行われました。

今年の団員は全員で21名。昨年よりちょっと少ないですが、一人一人パワー全開で1年間盛り上げて行こう！わんぱくの始まりと言えば班名決め。各班で話し合っ「テニス&バスケチーム」、「はしこあめ」、「スーパーずがいこつ」、「おぼぎやるチーム」に決まりました。好きなものから名前の頭文字をとったものまで個性豊かな班ができました。

さてさて、最初の活動は??
今年オリンピックイヤーなので、わんぱくも世の流れに乗っかります。運動あそびを通して仲間と仲良くなろう！わんぱく Olympic2024 開幕です。



最初はドッジビー。当初、班対抗で行おうと考えていましたが、欠席者もいたので、2班合同チームで行うことにしました。練習せずとも何となくの感覚でできちゃうのがわんぱくのみなさん。とにかく相手に当てればいいさ。投げ方も取り方もままりはないから。琉大からきたお兄さん、お姉さんも本気になって参加します。

ドッジビーの次はソフトバレー。ルールも自分たちで決めて進めます。サーブもレシーブも何となくできればいいさ。とりあえず5回で相手に返そう。結構つながるパス。盛り上がるバレー。

お次はフリースローです。1人1球勝負。内地ではキングスも戦っている。私たちも華麗にゴールを決めちゃおう！



お昼ご飯の後は徐々に体を動かしていこう！ということで、ジェスチャーゲームをします。仲間に伝えるため大胆に動こう。大切なのは恥ずかしくないこと。後半は自分たちでお題も考えました。難しくなる動作となりきるもの（動物だったりキャラクターだったり）。短い時間でどう伝えるか頭も体もいっぱい使います。

お次は激闘5色つなひき。最初にどのつなをひくか、誰が行くか作戦を立てます。みんなの動きの速いこと速いこと…。大人は全くついていきません。



最終競技は障害物ルーを用意していましたが、団員からドッジボールがやりたいという意見が出たので急遽変更。予定通りいなくても楽しめちゃうのがわんぱくのいいところ。とにかく楽しいことをしよう！

こんな感じで進めましたが、しっかり点数はつけていました。いよいよ結果発表です。さ〜てわんぱく Olympic2024、1位に輝いたのは?? ジャじゃ〜ん、おぼぎやるチーム!!!ジェスチャーゲームと5色つなひきが勝因となりました。他のチームも惜しかった。たくさん体を動かして楽しい1日を過ごすことができました。

相手の立場になって考える 特別の教科 道徳 公開授業・講演会

5月9日（木）、大宜味中学校に岐阜聖徳学園大学の山田貞二先生を招き、村外の職員も参加する道徳の公開授業が行われました。

大宜味中学校は今年度、文部科学省指定の「よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進事業」の委託を受けており、7月、10月にも公開授業を行う予定です。

この日は2年生が「いつわりのバイオリン」というバイオリンづくりの師匠フランクが弟子のロビンが作った作品を自分のものと称して著名な演奏家に提供してしまう話を教材に、ロビンの気持ちの動きや行動、フランクの苦しみや思いなどについて考えました。

授業は生徒たちから出た「なぜロビンは怒らなかったのだろう」という疑問を元に、「自分だったら許せない気持ちの方が強い」、「フランクのことを尊敬していたから許せたのでは」、「その時言ってくれたらよかったのに」など意見を出し合いながら進められました。

一人一人の意見も違い、心の数値線も全く違う人もいて同じ話を聞いても、人によって感じ方もとらえ方が違うことがわかりました。



授業を終え、生徒たちからは「許せるといった人は優しいと思った。また感じ方はたくさんあると知った」、「人の話を聞いてそこから皆で考えを深めていくのは生活に活かせると思った」「自分は人の失敗を許すのが苦手だとわかりました。だけど今回の学習でみんなの意見を聞いて、（反省してるんだったら少しは許そうかな）と思い始めました」とそれぞれの思いをふり返りました。

授業後は「うれしい、楽しい、道徳大好き！～教材分析と授業づくり」と題した教員向けの講演会が行われ、公開授業を見学した先生たちが参加しました。

講演会の中で山田先生は「道徳は子どもと先生と一緒に考える授業。教材を見て分析し、自分なりに料理してほしい。先生は話の流れを作っていく仲介人になって。子どもたちから出てくる発問で授業の流れが変わることもあるがそれが楽しい授業でもある」と話しました。先生方も「いつわりのバイオリン」について生徒と同様にペアやグループで話し合いをして意見を出し合い、道徳の授業をどのように進めていけばいいか実践しながら学びました。

公開授業に参加した先生たちからは「生徒の様子、疑問を出すところで修正ができるところがすごいと思いました。生徒の実態にあっており、生徒が伝えあう、聴きあう活動をする様子が良く見られました」、「教材研究の方法など具体的に講演していただいたので、すぐに新しい教材に取り組んでみたい気持ちになりました」、「道徳の授業づくりが苦手だったが、教材を読み込んで気になる部分をピックアップしてそこから発問につなげると自分にもできた」などの声があがりました。

授業を受ける生徒、つくる先生、双方で学んだ公開授業、講演会となりました。



山田貞二先生



天野鍛助日記ヲ読ム4 (157号つづき)



今回は、『大宜味村史 資料編』に収録されている大正11(1922)年の日記から、電信架設や郡道工事、税金の賦課方法等、村の基盤を構築するため首長として奔走する姿を追ってみた。

1920(大正9)年、民選による初の大宜味村長として就任、以後三期を務め、1931(昭和6)年の村政革新運動によって辞任した、饒波出身の天野鍛助(あまのかすけ・1883—1966)が書き記した日記を紹介している。



- 天野鍛助日記(大宜味村史資料編)
- 大正十一年一月一日 自転車ヲ喜如嘉校拜賀式ニ参列、平良氏ト電信問題ニ付意見ノ交換後辞シ、大宜味校デ宴会、校長住宅ニ参上
 - 一月四日 御用始、午後二時スギ吏員ヲ連レテ大兼久饒波十年計画地ヲ視察シ自宅デ新年ノ酒ヲ饗シタ。平良真順モ来迎セリ、全氏酒ヲ送ラル
 - 一月五日 大宜味校デ自治振興会ヲ開ク、林野取締上当局ノ怠慢ヲ頻リニ云フモノアリ
 - 一月十二日 正午頃浜沖郵便局長ト局移転ノ話ヲナス。大宜味漁業者ヲ集メテ国頭郡水産会ノ同意書ヲ出スヤウ勧誘セシニ快諾セリ。漁業組合設立ヲ勧メタリ。郡道川田線ヘ夫役寄附セヨト奨メシニ是亦快諾セリ
 - 一月十四日 暴風被害者ヘノ御下賜金伝授。区長会、酒消費者ヘ課税スルコトニ協議シ三月マデ徴収法ヲ研究スルヤウニセリ。国頭、大宜味局長ト電線架設寄附ノ打合ヲナセリ
 - 一月十五日 国頭郡水産会ヘ加入申込者百二十名、小使電線架設寄附ノ件デ助役ヨリ書面ヲモタラシメル
 - 一月十六日 郡長ヘ相談シタルコト①郡道川田線ヲ一年間デ速成シ相当夫役ノ寄附ヲナスコト、②今年徴収署ヲ大宜味校ニ開設サレ度事
 - 一月二十一日 名護ヨリ仲尾次マデ自転車、仲尾次ヨリ塩屋迄割舟デ帰ル
 - 一月三十一日 仲田氏ヲ産業会社ニ訪ヒ電線架設ノ運動ヲ依頼ス
 - 二月一日 郡役所ニテ村長校長会合、電線架設ノ陳情書執筆ノ為午前中一寸顔ヲ出シ宿ニ帰ル
 - 二月三日 朝早く自転車デ源河ニ着ク国頭村長並校長連中自転車デ来ル、自転車ヲ人夫(五十錢)ニ担ガシ津波事務所マデ来ル。道路工事場ニ至ル
 - 二月六日 郡道川田線ノ件テ秀吉、和豊等ト郡役所ヘ会合暮方マデ鳩首協議セシモ纏ラズ:
 - 二月七日 午前中両村ノ人々ト郡道ノ協議ヲナス、郡ノ設計セル金額ヨリ一万八千円ヲ差引キテ向フ二年テ工事竣成サレタキ旨申出シテ郡当局モ快諾サル
 - 二月八日 平良真順ニ呼バレ電信架設ノ協議ヲナス
 - 二月二十一日 仲田氏ノ書面ヲ携ヘ平良国頭郵便局長及国頭助役ニ会イ帰途平良氏ヲ訪フテ更ニ大宜味郵便局長ニ会見セリ
 - 四月十五日 国頭村役場ヘ戸数割賦課基準視察ノ為出張日帰り。帰途大國運送株式ノ総会出席
 - 五月二日 戸数割賦課課力調査ノ為、大嶺君トテサガ森ヨリウシチャニ至リ東栄ノ一行ト会合ス。調査終リテ開墾ノ連中ト一杯ヲ傾ケテ意思ノ疎通ヲ計ル
 - 五月十日 午前十時頃伊江丸徴兵官一行ヲ乗セテ投錨、司令官、郡長ハ見エズ。自宅ト三、四相往来シ司令官ヲ待テドモ見エズ暮方帰ル
 - 五月十四日 村壮丁検査。午後五時頃ヨリ徴兵官一行ノ歓迎会ヲ催ス
 - 五月十八日 県庁ヘ出頭、戸数割制限外賦課ノ打合ヲナス地方課ハ出来ナイト云フ、明日マデ考エテ呉レト頼ンデ帰ル
 - 五月二十七日 区長を招集シテ戸数割賦課ノ件ヲ検閲セシメタ
 - 六月十七日 村会開催、原案通過。戸数割制限課税認可セラル

村史編さんだより

第158号 2024年6月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

~寄贈資料の紹介~

令和6年5月15日、古い民具や写真、賞状等を頂きましたので、その一部をご紹介します。一番古い賞状は、昭和8年に県の共進会で種牝牛「暁号」が2等賞、他にも昭和30~36年頃、澱粉(でんぷん)・籐(むしろ)・イ草・堆肥等の生産において、優秀な成績を讃える賞状もあり、大変貴重な資料です。



「改良和種 種牝牛 暁号 二等賞」の褒状 昭和8(1933)年

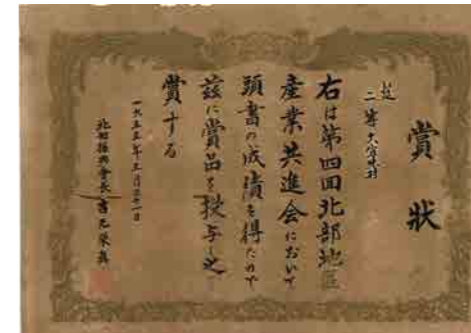
褒状
国頭郡大宜味村

改良和種
種牝牛 暁号
昭和七年五月一日生

二等賞
審査官 地方技師 従六位 小林俊一郎
審査長 種馬所技師 従七位 岸徳次郎
右第三回沖繩県種牝牛馬共進会
審査長ノ薦告ヲ領シ茲ニ之ヲ授与ス
昭和八年十一月二十一日
第三回沖繩県種牝牛馬共進会長 沖繩県知事
從四位勲三等 井野次郎



第4回北部産業共進会「澱粉二等」(1955年)



第4回北部産業共進会「籐二等」(同左)



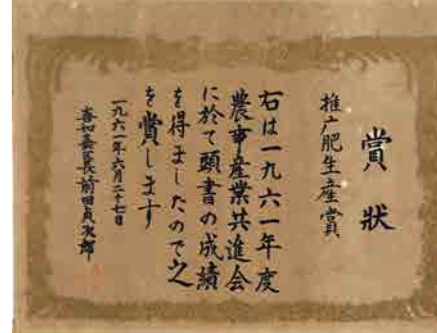
「北部産業共進会」銘入りの記念漆器(同左)



「備後蘭草坪刈(びんごいぐさつぼがり)一等」大宜味村長宮里金次郎より(1955年)



「堆厩肥(たいきゅうひ)優良」区の共進会(1960年) ※堆厩肥とは家畜の下肥と草を発酵させたもの



「堆厩肥生産賞」区の共進会(1961年)



1957年西年生年者記念写真(49才以上)



北部連合区教育委員会発足10周年記念 1962年

農業や産業の振興、生産向上に資するため、農産物や工業製品を集めて展示し、品評・査定する「共進会」が各地で行なわれ、優秀な成績を収めた者には、賞状および賞品(金)が授与された。昔から原山勝負という形で行われていた。

政信教育長のあじま～コラム



「周年行事のこと」

辺土名高校が来年、創立80周年を迎えるということで、その記念事業準備委員会が去る4月にありました。私は辺土名高校の卒業生ではないのですが、地域にある学校なのでしっかりとその役目を果たしていきたいと思っています。周年行事の思い出としては、校長として赴任した南大東小中学校の100周年記念事業を思い出します。島唯一のしかも歴史的に八丈島の方が開拓した際にできた学校だからでしょうか、今まで経験した周年行事では経験したことのない盛り上がり、取り組みに正直びっくりしました。（校歌の歌詞の中には開拓した方の名前があります）今、「地域に開かれた学校」、「地域とともにある学校」づくりが文科省主導で行われていますが、それを越えた取組だったと感じています。多くの島民が事業の取組に関わり、式典も前夜祭から2日間に行った行われ、どの期も多くの卒業生が来島し、島は式典一色でした。故郷、母校によせる卒業生の熱い思いをひしひしと感じた周年行事でした。南大東での経験によって、私は「故郷で教員したい」という願いを持つようになり、念願が叶って今に至っています。多くの人、とりわけ地域の人と関わることで、地域の方々が子どものために活動することで子ども達に与える影響は多大なものがあります。南大東での勤務はそのことを強く実感させられ、考えさせられました。日常的な活動でも、卒業生の関わりが非常に多く見られました。そして、日頃から思っている「子どもが小さい頃を振り返り、いろいろな地域の方や保護者の方に支えられた大きくなったという意識を持っていけば、大人になったとき、人のために、地域のために考える子どもが育つ。」ということを目の当たりにし、確信しました。

今月の生きもの

カラスヤンマ（交尾）：オニヤンマ科




撮影：村山望

再びの登場となりました。私たちカラスヤンマです。透明な翅がオスで黒い翅がメスです。メスの翅は真っ黒なものから半分だけ黒いものまで個体差があります。成虫期は5月中旬から7月で、トンボの形になった私は今の季節にお目にかかれます。源流部から上流部に生息していますが、朝夕はエサの飛翔昆虫を探しに下流部や河口部、海岸線まで下りていくのでみなさんも見ることができるはず。成虫はカなどを食べますが、ヤゴはリュウキュウアカガエルのオタマジャクシなどを食べます。大きく育てわが子たち。



ヤゴ

6月の行事予定

1日（土）地区中体連 ～2日、8日	6月13日	16日（日）沖縄県議会議員選挙
県高校総体 ～4日		21日（金）（園）保育参観日
3日（月）（中）振替休日 区長会	FMの日	23日（日）慰霊の日
9日（日）小中一斉授業参観 親子ふれあい		郡サッカー大会 村野球大会①
PTSA 親睦バレーボール大会		24日（月）夢語るウィーク ～28日
10日（月）（小中）振替休日（6/9日曜参観）		27日（木）定例教育委員会会議
15日（土）国頭地区ミニバスケット交歓会 ～16日、22日		29日（土）わんぱく体験団②
		30日（日）村野球大会②

いよいよ梅雨に入りました。ジメジメの季節となりましたね。17年使っていた我が家のクーラーもついに壊れました。久々に引っ張りジメジメ生活を過ごしています。新しいクーラーがくるまであと少しの辛抱です。昔はもっと涼しかったのにな。